

県立夜間中学設置準備にかかる懇談会（第2回） 会議録（概要）

- 1 日時 令和4年11月4日（金） 午後2時から4時まで
- 2 会場 県庁議会棟 特別会議室
- 3 出席者 別添名簿のとおり
- 4 内容

(1) 中田教育次長あいさつ（概要）

- ・委員の皆様方には、2回目の懇談会にあたり、出席をいただき感謝。
- ・学校現場のことを考えると、今はちょうど中学校が、文化祭、新人戦の時期。行事を中心に充実の2学期ということで、様々な取組が行われている。コロナのことも心配な中、それぞれの学校では、気を使われながら、いろいろなことに取り組んでいただいていることに感謝申し上げるとともに、さまざまな形で支援をいただいている皆さんにも感謝。
- ・7月4日に1回目の懇談会を行った中で、コンセプト案、夜間中学の設置方針の具体案について、皆様には、貴重なご意見を頂戴した。いただいたご意見をもとに教育委員会内で協議をし、修正を加えた後、パブリックコメントを実施した。
- ・パブリックコメントでは、コンセプトの中身について、とてもよい評価もいただいたところ。
- ・パブリックコメントで頂いた意見を踏まえ、事務局内で再度検討し、定例教育委員会で、コンセプト案について協議いただき、9月9日に最終的にコンセプトを策定したところ。
- ・コンセプトをもとに、鳥取県立夜間中学の校名を決めていく所存。
- ・70名の方から、87件の案を応募頂いた。
- ・事務局の候補案について、ご意見伺ったり、委員の皆様方からも、候補案を挙げていただいたりしながら、最終候補案を取りまとめ、最終的には、定例教育委員会で、校名を決定して参りたい。
- ・県教育委員会としては、生徒が、県立夜間中学に誇りと希望を持ち、広く、県立夜間中学が県民に親しまれ、愛されるのにふさわしい校名にしたい。
- ・本日は、入学者の募集方針案についても、ご意見を伺う。
- ・来年の今頃は、学校が設置され、ちょうど入学希望者との面談を行っているような時期になる。入学してくる生徒の姿を思い描きつつ、皆様方にたくさんご意見を頂戴し、この2回目の懇談会が充実した会になるようお願いする。

(2) 協議

<非公開>

ア 校名候補について

<公開>

イ 令和6年度鳥取県立夜間中学入学者募集方針（案）

資料に沿って説明。意見、質疑等は以下のとおり。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・入学者の募集について、第1学年から第3学年までのすべての学年で募集するのは、毎年ととらえてよいか。 ・入学者の決定のところに、学科の試験とか筆記の試験はありませんという表記があった方がよい。募集要項には、そのような表記を入れてもらえるとありがたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・1点目のお尋ねについて、令和6年度に限ったことではなく、毎年2年生や3年生に入学することもある。 ・2点目の入学については、面談を通じて様々なご意見や様子を聞かせていただきながら考えていく。試験はないというところの表記について、事務局で検討させていただく。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・入学資格の部分で、4月1日現在、鳥取県に住むことが確実な人で、この確実という部分はどういうふうにするのか。高校の場合には、保証人が鳥取県に在住している人や本人から確約書を取る。 ・2の入学試験資格の（3）で、中学校の教育を十分に受けることができなかった人とあるが、この文面だと、単に学び直したいって人が受けることができな形になっているが。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・1点目については、具体的には、要項に定めることになろうかと思うが、まず一つは鳥取県で、住民登録されている等何らかのものを証明できるものがあればよいと考えている。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・学ぶ機会を十分に提供されていなかった方を対象とするのが夜間中学の役割ということになるので、卒業したけれども、単に学び直したというよう方は、対象ではない。 ・いわゆる生涯学習的な学びでもう1回学び直したいという方は、対象ではないという整理で、設置方針の中で、決定している。 ・文章として、わかりづらい部分については今後検討していく。 ・徳島県のように、鳥取県で働いている人も対象として加える方がよいのではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、鳥取県内でもまずは東部地区に開校し、そのあと中西部のニーズを把握していきながら検討していく段階ということもあり、本県の、学びを求めておられる方の（学びの保障）を大前提に、開校準備をしているところ。ただ今後、検討課題の一つになってくるとは認識している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・2 入学資格の（3）について不登校や病気などの理由でと例示がしてあるが、徳島県では様々な理由により、となっている。募集要項ではどう表現するのがよいか、検討する必要があるのではないかと。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・2 入学資格の（3）についてできるだけ幅広の表現の方が安心感を与えよう。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・3 入学者の募集（3）について相談会や体験会を設けることは大切なことだと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・この方針をもとに、募集要項ができた段階で見せていただけたら検討する機会は今後あるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・何らかの形でご意見を伺いたいと思っている。

(3) 報 告 県立夜間中学シンポジウム及び個別相談会の開催結果について

資料に沿って説明。質疑等は特になし。

(4) 連 絡

ア 第1回鳥取県立夜間中学体験授業会及び個別相談会の開催について

イ 今後の懇談会の予定について

- ・第3回：2月中下旬 [主な協議題：特別の教育課程、生徒指導関係]

ウ その他

資料に沿って説明。質疑等は特になし。

(5) 長谷川参事監兼小中学校課長あいさつ（概要）

- ・どうしても事務局だけだと考えが固定化されたり、視野が狭くなったりするが、事務局とは異なる視点でご意見をいただいた。また、県立夜間中学開校に向けた方向性について背中を押していただいていると思っている。
- ・校名について、県民の皆さん、あるいは全国から本当によく考えられた思いがこもったご意見をたくさんいただいた。その思いをイメージだけでなく、なじみのある、通ってもらえる学校にしていきたい。
- ・入学者募集方針についても、入学対象者に一步踏み出してもらえるように、何とかわかりやすく、そして、手順を踏みながら丁寧に進めていきたい。委員の皆さんからのご意見も踏まえ、またさらに練り上げていきたい。
- ・いずれの内容にしても、なるべく良いものにしていきたいという思いだが、やはりその背景には、最終的には学校に通ってもらう人たち、入学を考えてもらえる人たちをいかに増やしていくかということにつなげていかななくてはいけない。
- ・そういった点でも、先ほどご紹介させていただいた体験授業会も含め、皆さんのお力をお借りしないといけないと思っている。引き続きよろしくお願ひしたい。

(5) 閉会